東京薬科大学新聞
発行所
東京薬科大学
学生新聞
八王子市堀之内
1432－1
☎0426(76)5111
1

駐車場問題のゆくえ

根岸執行委員長語る

執行委員長　根岸　正明

ここ数年、車による通学者が増え、南陽台の路上駐車の問題が表面化したため、今年に入って警備員による規制が行われるようになりました。これにより、これから駐車場の問題が大きく浮び上がってくると予想されます。現在、大学には一〇台の学生駐車場と九〇台の有料駐車場があります。しかし、二〇〇〇人を上回る学生数と、大学の立地条件を考えると、とうてい充分な数とは言えません。現に、学生駐車場の駐車証希望者は、毎年百五〇人程いて、五〇人は有料駐車場にするか、車での通学を断念するしかないわけです。毎日と言わなくても、大半の通学を車で行なうという人なら有料駐車場にすることも苦にはならないでしょう。しかし、週に一、二度又は、今週は実習があるからとかで不規則な通学をしている人にとっては、月に三〇〇〇円払って有料駐車場を使うということは考えられないことでしょう。その様な学生の為に一つの案として、月極の駐車場を日極にして、誰でも使用することが出来ない駐車場にすることを出しましたが、地主の意向に反しているとのことで、実現にはほど遠い状態です。

学部学生駐車場の増設は不可能ですが、現在8台の余裕のある有料駐車場が満車になれば、もう一つの有料駐車場の増設をすることができるという話しが出ています。まず、利用者の増加次第で駐車場の増設を考えていきたいと思います。これからも学生の不利にならないような対策を考えていきたいと思いますので、皆さんの御協力をお願いいたします。

投書箱

新聞会への投書から

新聞会に下記の投書がありました。今月号では残念ながら、投書の内容を載せるだけになりましたが、次号（4月号の予定）でこの問題については、学術的に見た教授の意見や、学生側の意見、他大学の状況等をふまえて特集を組みたいと思っています。新聞会では、学生の身近な問題に取り組んでいくために、学生の投書を待ち望んでいます。「こんなところがおかしい。」とか、「こんなところを改善してほしい。」とか、「こんなことが知りたい。」といったような投書。又、「こんなことを学生に知ってもらいたい。」といったような投書等を受け付けています。G階ホールの新聞会ポスト（青色）に、気軽に投書してください。

☆白衣に思う

2年女子

『もともと、白衣は普段着でもなければ、ましてフォーマル・ウェアーであるわけもない。単なる作業着でしか機能を果たさないものではないでしょうか。

作業着は、それを身につけることにより、身体のよごれを防ぎ、又、危険を防ぐためのものである。だから、作業着、もしくは白衣はとても汚いものだ。実験で付いた薬品、動物等の細菌。着ている自分自身はいいかもしれないが、みたいと思っています。新聞会では、学生の身近な問題に取り組んでいくために、学生の投書を待ち望んでいます。「こんなところがおかしい。」とか、「こんなところを改善してほしい。」とか、「こんなことが知りたい。」といったような投書。又、「こんなことを学生に知ってもらいたい。」といったような投書等を受け付けています。G階ホールの新聞会ポスト（青色）に、気軽に投書してください。

☆白衣に思う

2年女子

『もともと、白衣は普段着でもなければ、ましてフォーマル・ウェアーであるわけもない。単なる作業着でしか機能を果たさないものではないでしょうか。

作業着は、それを身につけることにより、身体のよごれを防ぎ、又、危険を防ぐためのものである。だから、作業着、もしくは白衣はとても汚いものだ。実験で付いた薬品、動物等の細菌。着ている自分自身はいいかもしれないが、

第三者からは、”ちょっとネ”となるでしょう。それに、着たままで食堂に出向き、大きな口を開けて食事をするなど一般人から見たら、”不潔！”といわれて当り前だと思います。考えて見ればゾッとしてしまいます。

紳士、淑女であり、薬学者を目指す私達は、こういうことに気を付ける位の神経を持って欲しいと思います。礼儀として、常識として自覚を持って欲しいし、食事の時位、勉強とー般生活をケジメでもらいたい。』

学生代表と学生部との懇談会行われる

昨年、12月15日（土）に、学生代表と学生部の懇談会が、大学側、粟津部長、酒井、指田両担当、野村課長、学生側代表8名が出席して行われた。

その中で、学生側要望事項について主に話し合われた。

☆暖房（部室棟）について

12月14日より日曜を除き部室棟暖房を6時まで延長することを既に実施している。

☆倉庫について

現在、部室棟3階のバルコニーに放置してある学術系バネルや実習器具（薬祭用）等、保管用に倉庫の要求があったが、大学側のヤリミズ倉庫がまだスペースがかなりあるので、そこを使用してもよい。但し、鍵は学生課を通じて施設課で借りること。

☆クラブの集会場

豊田バスについて

豊田バスは4月をメドに中型化を検討中。例えば、豊田駅南口方面のターミナルを地主と交渉中。もっと便利（増便）多摩バスはもっと便利（増便）なれば利用したい者が学生大会出席者中、二一二名もいた。必要性はわかるが、来年の利用者数などを考慮し、理事会に働きかけたい。

☆クラブの集会場

講義室、部室会議室を使用しているが絶対数が不足とのこと。ロッカー室は、59年度新入生から6人用を9人用に切替え、3年後には一部屋あく予定でそれを多目的に使用することになっている。

以上が、当日話し合われた主な項目であるが、その他、全天候コート照明や、駐車場、厚生棟について話し合われた。しかし、これらはまだ学生側の要望の段階で、検討中とのことである。学生側から不満の多い駐車場については、今月号で根岸執行委員長が触れているので割愛した。

新聞会員募集

投書用紙

御自由にお使い下さい

東京薬科大学新聞
発行所
東京薬科大学
学生新聞
八王子市堀之内
1432－1
☎0426(76)5111
1

各部門新執行へ

体育部門長　柴野和央
学術部門長　宮　直明
文化部門長　本間　滋

各部門とも新執行に代わり、新旧部門長に今後の抱負や反省について語ってもらった。今後の活躍に期待したい。

体育部門　新部門長　柴野　和央（剣道部）

この度、運動系クラブの代表12人により、東薬大体育会を執行することになり、大変喜びしく又、光栄に思っています。

我々の代は、大学に入って一度も体育祭の経験がなく、又、その他諸々の問題がこれからも起こってくることと思います。先輩方の御指導、助言がこれからいっそう必要になってくることと思います。

で、御迷惑をおかけするとは思いますがよろしくお願い致します。又、今年の12月に自分達の執行が終わった時点で、少しでも自分達の代の体育会のカラーが出ていたらと思っています。

学術部門、文化部門、そして我々体育部門の三部門で、お互いに競い合って東薬大全体を盛り上げていきたいと思っています。

学術部門　新部門長　宮　直明（微生物研究部）

前部門執行から仕事を任されてから3ヶ月を経て、ようやく仕事にも慣れ順調に事が運ぶようになりました。

今年度の学術部門の目標は、学術面での各クラブ間の交流や東薬祭期間中の学術祭を成功させ、東京薬科大学に学術部門あり！と言われるような、他の薬科大学・薬学部の学術系クラブと連絡を取合い、情報交換などを考えています。

また、四月に行われる新歓行事には、学術部門企画の「柚木オリエンテーリング」・「学術研究発表会」が行われ、皆さん賞品が出ますので奮って参加してください。

旧部門長　渡辺　啓司

この一年間、「新しい企画」「新しい企画」と言って走ってきた。それは、新しい事自体が良い事だと思っていたわけではなく、新しい事に挑むのが進歩だと考えていたからだ。「新しい企画」…口で言うのはたやすいが、それを実行に移した時は、失敗ばかりしていた。しかし、今はそれでも良かったと思っている。なぜなら、宮君をはじめとする新スタッフ達が、それを糧により良い部門運営をしてくれると信じているからである。

保守的な人の多い中で、新しい企画を進めるのは何かと大変であろう。しかし、自分達の正しいと思った方向へ信念を持って進んで欲しい。新スタッフの活躍を期待する。

旧部門長　森崎　悟

体育会の部門長として充実した一年を送ることができた。この一年を振返って一番悔やまれることは、綿密な計画をたてたにもかかわらず雨で実施することができなかった体育祭である。また、我々体育会に協力していただいた方々に感謝したい。

さて、次期執行部の諸君に言いたいことは、東薬体育会の先輩方からのよい伝統は受け継ぎ、また自分たちのカラーを持ってよりよい体育会にしていってもらいたい。二年連続雨に流された体育祭を是非とも成功させて欲しい。

最後に、一人一人が自信を持ってこの仕事に取り組んでいって欲しい。

新聞会員募集

文化部門　新部門長　本間　滋（合唱団）

この度、小池さんの後を継ぎ、新しく部門長になりました合唱団の本間です。以前、文化部門の方には運営委員としてその籍をおいていましたが、仕事らしい仕事はほとんどせず、ですから部門長になった時はほとんど内容は白紙の状態でした。今、二ヶ月近くが過ぎようとしていますが、ようやくその仕事の大変さ、そして重要さをひしひしと感じている次第です。ですが部門長といってもすべてを一人でやるつもりは毛頭なく、副部門長以下数名のスタッフ及び、各クラブの運営委員の諸君と共に、ひいては各クラブの協力を得てやっていこうと思っていますので、これから一年よろしくお願いします。

旧部門長　小池　晴夫

忘れもしない一昨年の12月14日。文化部門コンパ・・。皆にビールの雨による激励を受け、大胆な野心と一抹の不安を抱いて文化部門長と呼ばれる生活がはじまった。

実際に執行をとってみると、さまざまなクラブが属する文化部門ゆえに生じる問題も多岐にわたりうまくいかない事もしばしばでした。そして、その度にこれまでの執行の方々の偉大さに感服し、自分の力のなさに憤りを感じていました。しかし、スタッフをはじめとする文化部門の人達や、至らない所の多い部門長を見るに見かねてか各クラブの部長の皆さんの絶大なる協力を得て、どうにか一年間使命を果たす事ができました。まだまだ多数の問題点を残しこれからの部門という感じですが文化部門の発展を見守っていきたいと思います。

現在各部門とも、試験前でその活動は停滞しているが、今後、新歓期が迫るにつれ活性化してくる。それにつれ各部門長に対する各クラブからの期待は大きくなるだろう。最近の何事にも無感心な新入生の関心をいかにしてひかせるかが、新歓行事の最大当面の課題であろう。

運動部の試合、文化部の演奏会・展示会、歩け歩け大会、学術部の発表会、柚木オリエンテーリングなどの活動をいかにして大学全体に浸透させ、また、成功させるかは、各部門が鍵をにぎっている。

従来のマンネリから抜け出し、新鮮な企画・意見を取り入れ、執行をとってもらいたい。

掲示板

◎付近住民非難のマトであった南陽台通りの駐車違反車に対し、1月10日よりガードマンによる規制が始まった。結果は良好で1日目午前無、午後4台あったが厳重に注意した。規制は、続行する。有料駐車場（生協扱）はまだ10台分位、余裕がある。

◎テニスコートの古倉庫を今回新倉庫設置の許可がでた。

◎1月16日（水）3時15分より二一一講義室に於いて交通安全講習会が行われ、車両通学のアンケートが実施された。